

- 問1 日本の農業統計において、北海道は他地域と比較して耕地面積に占める牧草地の割合が非常に高いという特徴があります。このような広大な土地を利用した酪農で生産される生乳の利用状況について、正しい説明はどれですか。（2025年 岐阜県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 生産された生乳の8割以上が、バターやチーズなどの加工用として利用されている。 | 2. 生産された生乳は、九州地方などの遠方の乳製品工場へ生乳のまま輸送されることが一般的である。 | 3. 生産された生乳は、果樹園の肥料や家畜の飼料としてその大半が地域内で消費されている。 | 4. 生産された生乳のほとんどが、鮮度を保持したまま大都市圏へ飲用として出荷されている。 |
|---|--|--|--|
- 問2 北海道中央部を流れる石狩川の中流から下流域にかけて、かつて広く分布していた土地の名称を教えてください。この土地は、寒冷な気候により枯れた植物が十分に分解されないまま積み重なったもので、水分が非常に多く栄養分に乏しいという特徴があります。（2025年 千葉県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|--------|--------|-------|
| 1. 盆地 | 2. 三角州 | 3. 泥炭地 | 4. 台地 |
|-------|--------|--------|-------|
- 問3 北海道には古くから独自の文化を築いてきた先住民が居住しており、現在の札幌をはじめとする道内の多くの地名は彼らの言葉に由来しています。この民族を何と呼びますか。（2019年 静岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|----------|---------|---------|
| 1. ウィルタ民族 | 2. アイヌ民族 | 3. 琉球民族 | 4. 大和民族 |
|-----------|----------|---------|---------|
- 問4 日本の酪農において、北海道は大消費地から離れているという地理的条件に対応するため、生産された生乳の多くをある形態に変化させて出荷しています。この形態と、その主な製品の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2016年 秋田県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------------|------------------|------------------------|--------------------|
| 1. 輸出入 — 脱脂粉乳や練乳 | 2. 加工用 — バターやチーズ | 3. 地場消費用 — ヨーグルトや生クリーム | 4. 飲用 — 牛乳やコーヒーステア |
|------------------|------------------|------------------------|--------------------|
- 問5 1958年に約47.8万人であった札幌市の人口が、2018年には約195.2万人へと急増した背景にある、北海道特有の社会経済的な状況として最も適切なものはどれですか。（2021年 宮城県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 道内の交通網が未発達であったため、物流の拠点として札幌市にのみ人口が残留せざるを得なかったため。 | 2. 道内の基幹産業であった石炭産業などの衰退により、地方から都市機能が集積する札幌市への人口移動が加速したため。 | 3. 札幌市に大規模な工業地帯が形成され、重化学工業に従事する労働者が全国から一斉に集まったため。 | 4. 北海道全域で稲作が拡大し、農業に従事する現役世代が札幌市周辺の広大な農地へ移住したため。 |
|---|---|---|---|
- 問6 日本の主要都市における1月の気候データにおいて、1月の平均気温がマイナス5度付近と極めて低く、かつ1月の降水量が100ミリメートル未満という特徴を持つ都市として最も適切なものを選んでください。（2023年 福井県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 大阪市 | 2. 札幌市 | 3. 金沢市 | 4. 宮崎市 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問7 北海道の農業の特色について述べた文として、生乳の利用状況に着目して説明したものとして正しいものを選びなさい。（2019年 静岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 冷涼な気候を活かして乳牛の飼育が行われているが、生乳の生産よりも食肉用の肉牛の飼育が統計上の大半を占めている。 | 2. 生乳の生産量は多いが、そのほとんどは自家消費や道内での流通に限られており、加工品としての道外出荷は少ない。 | 3. 生産された生乳の多くをバターやチーズの原料とする「加工用」に回しており、広大な土地を活用した大規模な酪農が行われている。 | 4. 大消費地に近い利点を活かし、鮮度を保った飲用牛乳を都市部に供給する近郊農業が酪農の主流となっている。 |
|--|--|---|---|
- 問8 北海道の日本海沿岸に位置する稚内付近では、5月から6月にかけて月別平均日照時間がピークを迎えます。このような自然環境に関する説明として、誤っているものはどれですか。（2021年 兵庫県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. この地域が日本の他地域に比べて高緯度にあることは、夏季の昼の時間が長くなる要因となっている。 | 2. 日本海を北上する対馬海流は暖流であり、この地域の気候に影響を与えている。 | 3. 夏季の日照時間が長いのは、寒流である千島海流が宗谷海峡を通して日本海へ流れ込み、雲の発生を抑えるからである。 | 4. 5月から6月にかけて日照時間が長くなるのは、梅雨前線の影響を本州ほど受けにくいことも背景にある。 |
|---|---|---|---|
- 問9 北海道の石狩平野などは、かつて農耕に不向きな土地でしたが、現在では日本有数の稲作地帯となっています。このような発展を可能にした土地改良の背景として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 和歌山県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 火山灰が厚く堆積して水持ちが悪い台地を改良するため、大規模な水路が建設された。 | 2. 植物の遺体が堆積した排水の悪い湿地を改良するため、排水路の整備や客土が行われた。 | 3. 海岸沿いの浅瀬に堤防を築いて海水を抜き、塩害に強い新たな耕地を造成した。 | 4. 急傾斜地を階段状に削り、地滑りを防ぎながら標高の高い場所でも耕作を可能にした。 |
|--|---|---|--|
- 問10 北海道の産業構造の特徴について、市町村別の就業者割合をまとめた資料によると、道東や道南の広い範囲を含め、多くの地域で共通して高い水準にある産業分類があります。商業や観光業、医療・福祉といったサービス業を含むこの産業分類として、正しい名称を選びなさい。（2026年 三重県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------|-------------------------|-----------------------|------------------------|
| 1. 農林水産業を主体とする第一次産業 | 2. 先端技術や情報通信を主体とする第四次産業 | 3. 製造業や建設業を主体とする第二次産業 | 4. 商業やサービス業を主体とする第三次産業 |
|---------------------|-------------------------|-----------------------|------------------------|
- 問11 北海道の札幌（日本海側）と根室（太平洋側）の気候を比較したとき、根室で夏の気温があまり上がらず、札幌で冬の降水量が多くなる理由の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。（2026年 岩手県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 根室は冬に暖流と季節風の影響を受け、札幌は夏に寒流と季節風の影響を受けるから | 2. 根室は夏に寒流と季節風の影響を受け、札幌は冬に暖流と季節風の影響を受けるから | 3. 根室は夏に暖流と偏西風の影響を受け、札幌は冬に寒流と偏西風の影響を受けるから | 4. 根室は冬に寒流と偏西風の影響を受け、札幌は夏に暖流と偏西風の影響を受けるから |
|---|---|---|---|
- 問12 明治時代、ロシアなど北方からの脅威に備える警備と、北海道の土地の開拓を同時に行う目的で送り込まれた兵士とその家族を何と呼びますか。（2016年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|--------|--------|--------|
| 1. 防人 | 2. 守護代 | 3. 屯田兵 | 4. 開拓使 |
|-------|--------|--------|--------|
- 問13 水産資源を安定的に確保することを目的として、卵から人工的にふ化させた稚魚を、外敵から守れる環境である程度まで育ててから自然の海や川へ放流し、成長した後に再び漁獲する漁業の形態を何といいますか。（2019年 岡山県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|--------|---------|---------|
| 1. 栽培漁業 | 2. 養殖業 | 3. 遠洋漁業 | 4. 沖合漁業 |
|---------|--------|---------|---------|